

トーク&ライブキャラバン

## 谷村新司 ココロの学校

「谷村新司 トーク&ライブキャラバン ココロの学校」が11月3日、文化会館で行われました。机と椅子、1台のピアノを配置して教室に見立てたステージに、谷村新司さんが校長として登場。ココロに響く温かいトークと、「三都物語」「チャンピオン」「<sup>すぼる</sup>昴」など音を肌で感じるライブを繰り広げました。平坂中学校合唱部の生徒たちも登場し「いい日旅立ち」を披露。アンコールには谷村さんと共に「サライ」を歌い、ステージは最高潮を迎えました。



南海トラフ地震を想定

## 17万人市民まると防災訓練

「津波防災の日」の11月5日、発生が懸念される南海トラフ地震を想定した「17万人市民まると防災訓練」が市内全域と総合グラウンドで行われました。総合グラウンドでは、防災関係機関や学校、ボランティア団体など約3,350人が参加。今回初めてドローンを使って上空から情報を収集するなど、実践さながらの訓練も多数展開されました。市内では、自主防災会による「黄色いタオル作戦」や避難訓練など、それぞれの場所・状況に応じた訓練が行われ、市民一人一人が防災への意識を高めました。



災害などに備え士気を高める

## 西尾市消防団観閲式



西尾市消防団観閲式が10月23日、坂田球場で挙行されました。一色・吉良・幡豆の消防団が、部隊訓練をはじめ、消防操法や放水訓練、分列行進を繰り広げ、日頃の訓練の成果を存分に披露。存在感を大いに示し、規律正しく行動する団員の姿に、会場から大きな拍手が送られていました。

「本のまち西尾」を広くアピール

## にしお本まつり



第11回にしお本まつりが10月29日・30日の両日、西尾市立図書館と岩瀬文庫を中心に行われました。「本のまち西尾」を広くアピールするために、本のリサイクル市や古本市、岩瀬文庫の貴重な蔵書の閲覧や旧書庫の特別公開、親子で楽しめる工作教室など、さまざまなイベントが催され、来場者は全国でも珍しい「本のまつり」を満喫していました。

長年にわたる多大な功績

## 秋の叙勲・褒章

秋の叙勲と褒章の受章者が、11月3日に内閣府から発令されました。市内では、学校保健功労の村松喜彦氏（吉良町）が瑞宝双光章、業務精励の桂山光弘氏（寺津町）が黄綬褒章を受章されました。



児童の感性や創造性の育成につなげる

## アーティストインスクール

芸術家派遣事業アーティストインスクールが市内の小・中学校で行われました。八ツ面小学校では、10月14日に「アンサンブル・マハナ」を招き、5・6年生216人がユーフォoniumやコントラバス、打楽器、ピアノを用いた迫力ある生演奏を鑑賞。プロの演奏家が奏でるクラシックやサンバなど世界各国の有名な音楽に、子どもたちは目を輝かせながら聞き入っていました。また、身近にある物で作った楽器で音の出る仕組みを学んだり、音楽に合わせてリズムを手足で取ったりと、楽しみながら音楽に親しんでいました。



たくさんの方の支援で復活

## 蒸気機関車B12お披露目セレモニー



快晴に恵まれた11月5日、愛知こどもの国で蒸気機関車B12お披露目セレモニーが行われました。こども汽車として親しまれるB12「しおかぜ」は、約6年前に故障して運行できなくなっていました。インターネットを通じて呼び掛けた募金による支援を受け、復活しました。セレモニーでは、支援者に感謝状が贈られた後、汽笛を鳴らしながら紅白のリボンで飾り付けられた姿で登場。支援者や詰め掛けた大勢の親子連れを乗せ、青空と三河湾を背に線路を走っていました。

秋晴れの中、伝統行事が行われました

## 西尾の秋まつり

10月16日・23日に、市内各地で伝統的な秋まつりが開催され、見物客でにぎわいました。田貫神明社では、「エイヤー」「トオー」などの掛け声とともに、勇ましい棒さばきを披露する県指定無形民俗文化財「田貫の棒の手」が行われました。棒の手は、江戸時代に農民の武芸として始まったといわれ、現在は地元住民らでつくる保存会が中心となり、伝統を受け継いでいます。小学生から大人までが、真剣に迫力満点の演技を繰り広げると、見物客から拍手や歓声が起こりました。



お正月に飾る掛け軸ができました

## 芸術書道に挑戦



床の間に飾る作品を初心者でも書けるようになる「芸術書道に挑戦」(全8回)の最終回の講座が10月25日、矢田ふれあいセンターで行われました。筆を持つのは中学生以来という受講者も多くいる中、講師の波切童州氏の「自由に書きなさい」という指導の下、掛け軸や額となるような作品が仕上げられていきました。受講者の熱意と、書道に関する知識やユーモアを織り交ぜた講師の明るい雰囲気づくりもあって、この講座は凸凹club(でこぼこクラブ)という名称のサークルに発展。今後も月2回の生涯学習を続けていきます。